

# キユーピープリント便り

二〇二〇年六月号

## ご訃報のお知らせ

葬儀施行会社として、改めて故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。 合掌

有限会社 屋久島葬祭  
☎42-2941

故父藤山俊幸儀五月一日八十九歳の生涯を  
とじました。  
なお、葬儀は(甫)屋久島葬祭斎場フルマージュ  
にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町安房四六一二  
喪主 藤山 雷太  
長男 藤山 麻美  
長女 山室 励子  
二女 安藤 俊子  
二女 安藤 清浩  
外親族 一 同

故母寺田サヨ儀五月三日百一歳の生涯を  
とじました。  
なお、葬儀は自宅にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町一湊二七八番地  
喪主 寺田 勘一  
長男 寺田 祥子  
長女 内山 ミツ子  
長女 内山 日出男  
二女 松井 俊子  
三女 木戸 時子  
四女 林 玲子  
四女 林 博昭子  
五女 五女 博昭子  
五女 五女 博昭子  
外親族 一 同

故義母早崎ヤチ儀五月八日九十九歳の生涯  
をとじました。  
なお、葬儀は自宅にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町志戸子八八番地  
喪主 早崎 幸子  
三男 早崎 利文  
四男 早崎 文治  
五男 早崎 秋生  
六男 早崎 正己  
長女 早崎 計子  
孫代表 早崎 周子  
外親族 一 同

故母日高タキ儀五月十一日百三歳の生涯を  
とじました。  
なお、葬儀は(甫)屋久島葬祭 やすらぎの家  
ながたの里にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町永田一九五番地  
喪主 日高 しおり  
孫 日高 正喜  
孫 日高 あやか  
親族代表 日高 俊広  
外親族 一 同

故父林益人儀五月十六日九十六歳の生涯を  
とじました。  
なお、葬儀は一湊願船寺にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町一湊三〇四番地  
喪主 林 道明  
長男 林 直美  
二男 林 成枝  
三男 林 益美  
外親族 一 同

故夫渡治文儀五月十七日七十四歳の生涯を  
とじました。  
なお、葬儀は(甫)屋久島葬祭斎場楽養送別館  
にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦二四五二一七七  
喪主 渡島 義信  
長男 渡島 義重  
二男 渡島 真讓  
長女 渡島 真美  
義姉 渡島 絹子  
外親族 一 同

故妻末野昌子儀五月二十日六十九歳の生涯  
をとじました。  
なお、葬儀は(甫)屋久島葬祭斎場楽養送にて  
執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦四〇番地  
喪主 末野 健次  
長男 末野 憲治  
男 末野 悟  
弟 末野 亮  
外親族 一 同

故妻平田リツエ儀五月二十一日九十二歳の  
生涯をとじました。  
なお、葬儀は(甫)屋久島葬祭 やすらぎの家  
ながたの里にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町永田二九六四番地  
喪主 平田 忠雄  
長男 平田 信幸  
長男 平田 真由美  
長女 塚田 さなえ  
二女 塚田 あい子  
三女 平田 うた子  
四女 上村 千昭  
五女 大山 千二  
五女 大山 泰二  
外親族 一 同

故母塚田幸子儀五月二十一日七十歳の生涯  
をとじました。  
なお、葬儀は(甫)屋久島葬祭斎場さくらにて  
執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦二四二八番地  
喪主 塚田 英志  
長男 塚田 英志  
二男 塚田 完爾  
二男 塚田 加奈子  
長女 塚田 絵美子  
長女 岡元 富義  
外親族 一 同

故妻林けい子儀五月二十七日七十二歳の  
生涯をとじました。  
なお、葬儀は一湊願船寺にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町一湊七六番地二  
喪主 林 雄治郎  
長男 林 大輔  
長男 林 智美  
二男 林 英司  
二男 林 仁美  
外親族 一 同

故母真邊ツル儀五月二十九日百歳の生涯を  
とじました。  
なお、葬儀は自宅にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町一湊八九〇一四四  
喪主 真邊 昭仁  
長男 真邊 昭光  
長女 兵頭 つや  
長女 兵頭 隆子  
二女 鳥羽 隆子  
二女 鳥羽 隆子  
三女 日高 八重美  
三女 日高 房徳  
外親族 一 同

故長女濱崎心那儀五月三十一日八歳の生涯  
をとじました。  
なお、葬儀は(甫)屋久島葬祭 やすらぎの家  
なかまの里にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿児島県熊毛郡屋久島町中間六七  
喪主 濱崎 祐介  
母 濱崎 由佳  
弟 濱崎 楓唯  
弟 濱崎 輝瑠  
祖父 濱崎 利弘  
祖母 濱崎 山崎  
外親族 一 同





故母岩山チヨ儀五月一日八十六歳の生涯を  
とじました。

なお、葬儀は(浦屋久島葬祭 やすらぎの家  
ひらうち)の里にて執り行いました。  
ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿兒島県熊毛郡屋久島町原三七九番地三

喪主 岩山 時則  
長男 岩山 眞里美  
長女 古賀 千波  
長女 古賀 淳  
外親 族 一同

故夫渡邊幸太郎儀五月二十五日六十一歳の  
生涯をとじました。  
なお、葬儀はアムール屋久島にて  
執り行いました。

ここに生前のご厚情を深謝し、謹んでお知らせ  
いたします。

鹿兒島県熊毛郡屋久島町平内六〇八一七八

喪主 渡邊 眞紀子  
長男 渡邊 雄磨  
長女 小山田 麗華  
長女 小山田 智博  
二女 甲斐 絵里奈  
二女 甲斐 裕之  
三女 南谷 沙莉衣  
三女 南谷 耕平  
母 渡邊 ルリ子  
弟 渡邊 浩  
妹 唐鎌 くるみ  
妹 澤田 朝美  
外親 族 一同

五月一日以降葬儀施行の御葬家様分です。  
訃告・脱字等ございましたらご容赦下さいませ。



## ひつろいふ

朝一番、おはようの挨拶より先に、慌ただしく話しかけてくる母。通帳片手に、10万まだ振り込まれてないよの一言。ついこの前手続きしたから、まただとは分かっている私。まだよ、行政だよと答えたら、母は、ぼそっと、よそは、でちよつとに、、、と不満の一言。確かにね、そう言いたくはなるよなと納得して外に出ると出口に車が停まっており、母は朝一で通帳記入に行つた事が分かった。

日本全国で、10万給付金もらうためにオンライン申請、マイナンバー手続きで、3密状態。なんで、このタイミングで普及してないマイナンバー手続きなんだろう。

屋久島も非常事態宣言あけに、補欠選挙。静かな町を投票をお願いしてまわる選挙カー。なんか、寂しく感じた。投票率も悪かったので、思った事がある。投票日に、各集落で、給付金の手続きをさせてくれれば投票率は上がったろうな。給付金の手続きは、本人確認書類の写しが必要だったが、高齢者が多いし、簡単にコピーできない状態だから、役場職員がデジカメで撮って添付してくれたら、あの一日で終わったかもって、ひとり感じた。

そうそう、やっと、やっと町政が動いてくれた。屋久島町、独自の支援ありがとうございます。でも、思ったことは、第1次支援、対象者がほんの一部で期待外れだった。そして、第2次支援が、臨時議会で成立されたが、もっと早く動いてくれたら、かっこよかったなと思った。支援内容は良かったけど、観光関連業にしか対象とならない。このコロナの影響は、島民みんなうけているのに、また、一部かよ。ちゃんと、納税してるし、観光の事で寄附や協力など、島民みんなしてるのに一部かよと、不公平さを感じた。同じように感じた苦しい町民の

声として、町はなんもしてくれん、本庁舎建てて、金、なかとはいわせんど、以前から行政に対しての不満があるんだと感じるのと一緒に、狭い屋久島、何らかの繋がりがあるか、声を大にしては言えないという気持ちも伝わってきた。やっぱり、町民平等に支援したうえで、一部の更なる支援なら我慢できるんだけどなーと愚痴りたくもなる。このコロナ問題が落ち着いた時、町民から感謝される町政であつて欲しいとつくづく思った。

さて、暑くなりましたが、アベノマスクがやっと、やっと届いた。不良品回収費用に8億、なぜその費用が税金、一般の取引ではありえない。初めの段階で各地方自治体に任せ、費用負担だけしてくればどんなに早かつたものかと思いつながら、だいぶ、コロナ感染者が減少し、マスクも購入しやすくなった中、永田町からの高級マスクを記念にとつておこうと思つたのは俺だけだろうか。

最近、通夜、葬儀など開式前に、コロナ対策として隣との間隔をあける事、マスク着用をお願いするのだが、別にもういいんじゃないのと隣の人にぼそり。こんな声聴くと、幸せな人だなと残念な気持ちになる。コロナで大切な人が亡くなっているのに、もう他人事だと思つてる。もし、ここで発生したなら、さらに、遺族さんがつらく苦しい思いをすることになるだろう。今言えることは、弊社がコロナ対策解除が一番最後になるだろう。ご遺族が島外から帰ってくるし、3密が一番起こりうる場所であり、人との繋がりが、命の儚さを知る場所だから、ここで起きてはいけません。

私自身もそうなんです、コロナの影響でいろんな事を感じた。今まで感じなかった、身近にある皆さんの幸せ。コロナがなくなり、以前の幸せな生活に戻つた時、今まで以上に大きな心で、笑顔で、まわりの人に優しく接すること

ができることでしょう。

最近、ひとりことは愚痴ばかりだから、ちょっとした笑い話を聞いてください。

私は、仕事柄ゴルフしないし、島内では、パチンコや飲み屋に行かないのですが、仕事を理由に出張し、思いっきり気分転換しています。そのため、仕事が忙しい時、今度いつ鹿兒島に行く、だから今は頑張つて働こうって自分自身を励まして乗り越えています。そんな鹿兒島に行く事が、一番楽しみにしてる私の生活にも、コロナの影響を受ける日々が続いた。花の講習会、霊柩協会、葬儀社会合などのお知らせがくれば、即出席の返信、離島では、一番の出席率を誇る。それが、コロナの影響で、書面決議、会合中止が続いた。そんな一つの会合が、来週に迫つた日に、鹿兒島でも緊急事態宣言が出て、飲食業、飲み屋、パチンコ、マッサージと楽しみにしてるところがすべて休業のお知らせ。更に、高速船も、朝一、最終しかなく、こんな状態で前日入りしても、ホテルに隔離されるだけで何も楽しくない。そして、会合当日、会合開催のお知らせが来たが、気持ちが進まない。仕事も入つておらず、天気は晴天、最高の出張日和。でも、身支度を始めない私をみて、従業員達は思ったそう。いつもなら、慌ただしく仕事を終わらせ、後、よろしくと出かけていくのに、出かけなかったマスク姿で元気がない社長。結果、大事な出張だと出かけていたけど、何が一番なのかがはっきりした出来事だった。今、コロナは落ち着いてきて、非常事態宣言も解除されたが、口実にしてた出張予定がほぼ無くなり、私の島隔離は、現在進行形。何か会合のお知らせがくるのを待ってる、欲求不満の毎日です。

コロナの馬鹿やろう、私の鹿兒島出張を返してくれー